

## ヒアリング項目 (会社・団体名 生活協同組合コープしが )

※以下の質問1～4について、お考えをお聞かせください。

### 質問1 これからの「地域福祉」に必要なものは何だと思いますか。

- 高齢者のみの世帯、高齢独居世帯が急増する中で、日常生活圏で医療とケア、生活サービス、人的交流を連携させる地域ケアシステムの整備は喫緊の課題であり、行政も住民も、事業者もその担い手として課題に取り組む必要があると思います。
- 高齢世帯の生活問題だけに限らず、子育て世代の支援、多世代交流の視点からも、地域の中で生活圏の中で、いろいろな世代の生活課題について、支えあえる関係づくりが大事であり、その基盤として多様な形で人の交流の場づくりが必要と考えます。
- 障害や生活困窮問題など、それぞれのケースでの専門的ニーズが必要な課題については、当事者活動や行政、社会福祉協議会などの専門職の連携が重要ですが、その上で、居場所や社会的就労など、地域での取り組みに結び付けていくことが必要であると思います。

### 質問2 今現在、貴社・団体等が「地域福祉」のために取り組まれていることがあれば教えてください。

コープしがでは福祉政策に基づいて以下のような視点で取り組みを進めています。具体的な内容については別紙を参照ください

- (1) 生協の力を活かした総合的なサポート力の発揮  
宅配事業や店舗事業、夕食サポート（お弁当配達）など生協事業の多様なお役立ちを大事にし、絶えず福祉的な視点をもって使いやすさの改善に取り組んでいます。
- (2) 高齢生活を支える介護事業の展開  
ケアの専門事業として介護保険事業に取り組むほか、コープしが独自の有償ボランティア制度「ささえあいサポート」などに取り組み、生協の持つ人のつながりが生かされる福祉を目指しています。
- (3) 人のつながり、地域諸団体とのネットワークづくり、生協としての社会的役割の発揮  
くらしの困りごとについて、社会福祉協議会やいろいろな当事者活動に取り組む団体とネットワーク作りを進めています。そうした連携をいかし、組合員活動でも、地域福祉に関する学習交流に取り組んでいます。

### 質問3 県が「地域福祉」を支援する上で、県に求められるものは何だと思いますか。

「地域」の捉え方は小学校区・日常生活圏というものから、市町、県といった行政単位までありますが、それぞれの単位が重層的に協力関係を作ることが大事であり、県は市町の取り組みでは満たせない、全体のなかでの課題、制度の隙間になっている課題を中心に取り組みを進めることが求められると思います。

また、地域や市町の先進的、実験的な取り組みを推奨するための支援制度などの枠組みづくりなどが県の課題として求められると考えます。

### 質問4 その他、「地域福祉」について考えること、思うことがあれば教えてください。

生活協同組合であるコープしがは、事業と組合員活動の両面で地域福祉に結びついています。今後、高齢化が進む中で組合員のくらしはいつそう、地域化が進むと思われませんが、それに対する事業の改革、組合員活動の地域福祉への連携が大事と考えます。

【別紙】ヒアリング項目 質問2 今現在、貴社・団体等が「地域福祉」のために取り組まれていることがあれば教えてください。

### ■生活協同組合コープしが 地域福祉に関する取り組み (数値は2015年3月現在)

コープしがの組合員数は158,993人で、世帯数からは28.6%の方が加入いただいています。

#### ■宅配事業

県下に10箇所の宅配センターがあり、ここから、ご利用者93,343名へ毎週、食品を中心とする多様な商品をお届けしています。用住宅リフォーム、ふとん丸洗い・打ち直し、不用品買取サービス、車検、ピアノ調律、補聴器など、生活サービスも提供しています。

利用方法は、グループにお届けする「共同購入」、個人宅にお届けする「個配」。商品をお預かりし、そこへ組合員が商品をとりに来る「地域ステーション」もあり、県下240箇所あります。

#### ■夕食サポート事業(弁当配達)

滋賀県内1,516人に対し、お弁当のお届けをしています。ご飯とおかずの入った「お弁当コース」、8種のおかずのみ「旬菜御前」、「6種のおかずコース」を月曜から金曜までお届けしています。土日・祝日は冷凍おかずセットをお届けし、毎日のご要望にお応えしています。

#### ■宅配・夕食サポートでの見守り・安否確認サービス

コープしがでは長浜市、彦根市、近江八幡市、草津市、高島市、米原市の6市と「見守り協定」を結んでいます。また協定の有無にかかわらず、配送時、商品お届け時に容態の悪い高齢者、困っている子ども等に気づいた際には、救急対応、保護、通報などを行っています。ご自宅で倒れている高齢者を発見し、速やかに緊急対応する事例が生まれています。

また、認知症についての理解、早期発見の一助になるよう、職員研修として認知症サポーター養成講座を受講し、職員みんなオレンジリングを取得している他、AED研修を受けるようにしています。

#### ■店舗事業

2015年2月に、コープぜぜ(大津市竜が丘)をリニューアルオープンし、今年度内にはもりやま店の開設を予定しています。食生活について、その地域の要望にあった売り場作りを進めるほか、店舗からのお届け便などで、様々な世帯の買物ニーズに対応していきます。

#### ■介護保険事業

2014年度にケアサポートセンターぼこ(大津市柳川)を開設し「ケアプラン」「訪問介護」「通所介護」に取り組んでいます。その人のくらしを支えるための自立支援を理念とし、商品お届けや夕食サポート、ささえあいサポートなど生協の取り組みを総合して、ご利用者、そのご家族にお役立ちするケアを目指しています。今年度内には第2事業所を野洲市で開設する予定です。

#### ■ささえあいサポート(有償ボランティア制度)

滋賀県内で、サポートを行う「ささえあいサポーター」が1,740名おられます。高齢者宅の家事援助のほか、子育て家庭でのサポートや、年齢にかかわらず、草取りやペットのお世話などのご利用があります。

#### ■居場所づくり、地域の組合員活動、住民活動の支援

コープしがでは、組合員が地域で行う社会活動、文化活動を応援する制度があります。「チーム活動」は、関心ごとを同じくする人が集まって、文化、福祉、スポーツなどのサークル活動を助成するものです。2015年度は178チームがあります。「ひろば活動」は文化、福祉などいろいろな学習会、交流会を応援する制度です。今年度は176企画があります。

組合員が参加していれば組合員以外の人もこの助成を受けることができ、組合員・住民の方も多様な活動に参加されています。